

その情報、信じて大丈夫？～メディア・リテラシーを身につけよう～

メディア・リテラシーってなに？

「メディア」とは、テレビや新聞、インターネットなどの情報を伝達する媒体のこと、「リテラシー」とは、読み書き能力のことを言います。つまり「メディア・リテラシー」とは、テレビやインターネットからの情報を鵜呑みにせず、読み解いて使いこなす力のことです。

メディアから発信される情報は、ありのままを伝えているものではなく、発信する側の考えによって切り取られたり、加工されたりしていることがあります。



ジェンダーの視点でメディアの表現を見てみると…

毎日何気なく見聞きしているテレビのニュースやCM、インターネットなどからのたくさんの情報。次のような表現をジェンダー*の視点で見ると「あれっ？」と思うことはありませんか。

* ジェンダーとは、「男らしさ」「女らしさ」など、社会的、文化的につくられた性別のことです。

ケース1 ヒーローは男の子だけ？

映画やアニメ、絵本では、さらわれたお姫様を勇ましい王子様が助けるというストーリーをよく見かけます。また、戦隊モノの主演、ヒーローはほとんどが男性です。



Oh My Hero!!
Thank You!!

性別によってイメージを固定していませんか。

「王子様（男の子）は勇敢で強い」「お姫様（女の子）はかわいらしくて優しい」のような「男性像」や「女性像」。

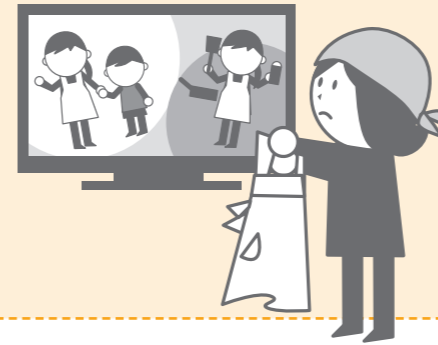
また男の子は青や黒が好きで外でサッカー遊びをしている、女の子は赤やピンクが好きで、スカートを履き、人形で遊んでいるなどのように、性別によって色や服装、遊びなどを決めつけていませんか。



男の子も女の子も好きな色を選び、好きな服を着ていいんです。外で活発に遊ぶ女の子も少し消極的な男の子もいます。また、女性のヒーローが主役の物語や、勇敢な女の子が男の子を助けるといったストーリーがもっとメジャーになるといいですね。性別ではなく、ひとりの人間としてそれぞれがもつ多様な個性を大切にしたいですね。

ケース2 エプロンは女性のもの？

「エプロンをつけた妻が料理を作り、子どもと一緒に夫の帰りを待っている」というテレビのワンシーン。また、料理をしていないのにエプロン姿の女性を描いたイラスト。メディアで描かれている、エプロンをつけた料理をしている人は、ほとんどが女性です。

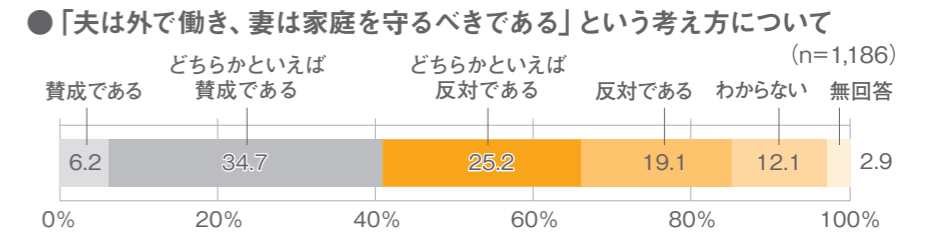


「男性は仕事」「女性は家事」と決めつけていませんか。

「男性は仕事」「女性は家事や育児、介護」などのように性別で役割を固定化していませんか。

下のグラフを見ると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方（固定的な性別役割分担意識）について、40.9%の方が「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答しており、まだまだそのような意識が根深く残っているといえます。

最近では、家事や育児、介護に積極的な男性も徐々に増えてきています。今後は、エプロンをつけて料理をする男性や親の介護をする男性のような表現ももっと増えてほしいですね。



資料：平成27年丸亀市男女共同参画に関する市民アンケート

最近変わってきたことも…

●ランドセルの色

以前は、男の子は黒、女の子は赤がほとんどでしたが、最近では水色や茶色、紫色などカラフルになり、自分の好きな色を自由に選択できるようになってきました。



●職業選択

以前は、男性・女性のどちらかに偏っていた職業も、最近は男性の保育士や看護師、女性の消防士や医師などもずいぶん増えてきました。



メディアからの一方的な情報に影響されないためにも、情報に対して受け身になるのではなく「どうして」と疑問を持ち、考えてみましょう。男女共同参画社会を実現するためには、私たちは、その情報を「ジェンダーの視点」を持って受け取り、読み解いて使いこなす力をつけることが大切です。

平成29年度男女共同参画モデル保育所 飯野こども園の取り組み

丸亀市では、子どもたちにも男女共同参画への理解を深めてもらうため、毎年度モデル保育所を指定し取り組みを進めています。

飯野こども園では、10月24日に「飯野っこ集会」が行われました。

「泣いているのは男の子？ 女の子？」

「ピンクの服を着て、料理をしている人は男の人？ 女の人？」

子どもたちや参加した保護者の方は、ジェンダーに関するクイズをみんなで考えたり、絵本の読み聞かせに聞き入ったりしていました。集会では「男や女などの性別にとらわれずに、一人ひとりの個性や生き方を大切にしよう。自分らしく生きよう。」と、メッセージを伝えていました。

